



議会だより 第20号

平成22年11月発行

みやま



もくじ

- * 議案議決結果 2～3P
- * 委員会報告 4P
- * 町政を問う・一般質問 5～11P
- * がんばっちょーよ！ 12P

諫山小学校5年生の稲刈り体験 10月19日

平成22年 みやこ町議会 会議結果

第5回 定例会(9月議会)			
議案名	議決結果		
人権擁護委員の推薦(永沼加奈子氏) 犀川	原案適任 (賛成16 反対0)	平成22年度みやこ町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (賛成16 反対0)
みやこ町水稻・麦・大豆等振興施設条例の一部改正	原案可決 (賛成16 反対0)	「協同労働の協同組合法(仮称)」の速やかな制定を求める意見書	原案可決 (賛成15 反対1)
みやこ町水稻・麦・大豆等振興施設運用基金条例の廃止	原案可決 (賛成16 反対0)	奨学金制度の充実を求める意見書	原案可決 (賛成16 反対0)
町道路線の変更(御代田畑ヶ上線)	原案可決 (賛成14 反対2)	みやこ町議会議員の定数条例の制定	原案可決 (賛成12 反対4)
町道路線の廃止(ナメラ下川原線)	原案可決 (賛成16 反対0)	第4回 臨時会(8月6日)	
みやこ町過疎地域自立促進計画の策定	原案可決 (賛成16 反対0)	議案名	議決結果
平成22年度みやこ町一般会計補正予算(第1号)	原案可決 (賛成16 反対0)	工事請負契約(本庄地区新設配水池築造工事)	原案可決 (賛成16 反対0)
平成22年度みやこ町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (賛成16 反対0)	工事請負契約(豊津浄水場内受水槽築造工事)	原案可決 (賛成16 反対0)
平成22年度みやこ町老人保健事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (賛成16 反対0)	工事請負契約(本庄地区新設配水池及び受水槽電気機械施設工事)	原案可決 (賛成16 反対0)
平成22年度みやこ町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (賛成16 反対0)	工事請負契約((仮称)伊良原コミュニティセンター建設工事)	原案可決 (賛成16 反対0)
		工事請負契約((仮称)伊良原コミュニティセンター管工事)	原案可決 (賛成14 反対2)

みやこ町過疎地域自立促進 計画の策定を可決

現在のみやこ町は、人口減少のために一定の生活水準を維持することが困難になった状態の市町村にのみ指定される「みなし過疎地域」に指定されています。

今回、平成21年度までの時限立法であった過疎地域自立促進特別措置法が平成28年3月31日まで6年間延長になり、従前のハード事業だけでなくソフト事業が追加されました。そこで、新たに平成22年度から平成27年度までのみやこ町過疎地域自立促進計画を策定しました。

なお、この計画は、過疎地域の自立促進を図ることを目的として、みやこ町の総合計画との整合性を図り、各分野の事業計画を作成していきます。

今後のまちづくりを展開していくうえで、あらゆる財源を活用する必要があり、過疎計画に計上した事業について、過疎債が適債とされるものは積極的に活用していきます。



過疎債で行っている中央地区配水管敷設工事(勝山黒田)

みやこ町議会議員の 定数削減を可決

18人→16人

現在、みやこ町の議員定数は18人ですが、議員発議による定数条例案の可決により、16人となります。

この条例は、公布の日以降、初めてその期日を告示される一般選挙から施行されます。現在の議会議員の任期満了(平成23年4月30日)に伴う選挙から16人となります。

「協同労働の協同組合法(仮称)」 の速やかな制定を求める意見書

日本社会における構造改革や労働環境の大きな変化は、経済や雇用など、様々な分野に格差を生じさせました。

「ワーキングプア」「ネットカフェ難民」「偽装請負」など、新たな貧困と労働の商品化が広がって社会問題となっています。特に障害を抱える人々や社会とのつながりがつけない若者など、働きたくても働けない人々の増大は、日本全体を覆う共通した課題です。

いま「協同労働の協同組合」は、こうした人々が集まって全員でお金を出し合い、経営に参加し、「働くこと」を通じて、「人と人のつながり」を取り戻し、地域社会の再生をめざす活動を続けており、大変注目を集めています。

しかし現在、この「協同労働の協同組合」には法的根拠がないため、社会的理解が不十分であり、団体として入札・契約ができないことや、年金などの社会保障の負担が働く個人にかかるなどの問題があります。そこで、「協同労働の協同組合」の法制定化を国に求めるものです。

奨学金制度の充実を求める 意見書

高校入学から大学卒業までにかかる費用は子ども1人当たり平均1024万円にもなり、貧困と格差の拡がり、高すぎる学費のために中退せざるを得ない若者を増やしています。

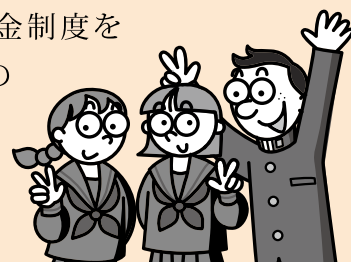
私立大学では年間約一万人の学生が経済的理由で退学しており、高校中退率も改善していません。

わが国における1人当たりの教育支出に占める私費負担の割合は33.3%と加盟国中2番目の高さで、平均15.3%を大きく上回っています。

日本国憲法は第26条で国民に「ひとしく教育を受ける権利」を保障、この実現のため政治的イニシアチブが求められています。

国の奨学金の原則無利子、返済猶予を拡大など、給付奨学金制度を創設する等、制度の充実を図られるよう要請します。

可決! 国に提出



委員会活動報告

総務常任委員会



廃校になっている鏡畑小学校(犀川)

委員会では、町有財産の現状の把握を目的として、現地調査をしました。みやこ町は各所の町有地をかかえています。購入時には何らかの目的があったものもありますが、現在は雑草を刈るなどの管理費もかかっています。今後、町有地の売却も検討されることや、普通財産の有効活用の観点からも井上町長に同行を求めて調査を行ないました。

町有財産にかかる現地調査を行なう
(8月4日、10月7日)

ダム対策特別委員会

また、県営仁賀ダムは、総事業費240億円の治水目的のダムで、平成18年度から本体工事に着手し、平成23年度完成を予定しています。水源地整備計画として、10項目の事業を広島県及び竹原市で行い、約90%完了している状況等の視察研修を行いました。

委員会では、ダムのある自治体の住民対策や諸問題及び、水源地域振興事業実施状況等の調査のため、広島県東広島市の福富ダム並びに竹原市の仁賀ダムについて行政視察を行ってまいりました。福富ダムにより、分断されるまちを衰退させないため、都市と水源地域の交流拠点づくりを目標とした取組状況等について研修しました。現在、地区内の道路整備により、町中心へのアクセスの向上や機能強化が図られ、整備した「道の駅」には地域交流センターの併設と大型遊具が設置され、地域全体の来訪客数が大幅に増加するなど地域全体が活性化しています。

委員会では、ダムのある自治体の住民対策や諸問題及び、水源地域振興事業実施状況等の調査のため、広島県東広島市の福富ダム並びに竹原市の仁賀ダムについて行政視察を行ってまいりました。



仁賀ダムにて

広島県福富ダム及び仁賀ダムを視察
(8月2日～3日)



議場にて

中国江蘇省から 表敬訪問(9月14日)

中国の江蘇省人民代表大会常務委員会友好代表団が、平成4年11月の福岡県と江蘇省との友好提携以来の相互交流事業の一環として来県の際に、当町に表敬訪問をしていただきました。

町政を問う!!

一般質問

町民によるこぼれる 行政をめざして



直 野 義 員
柿 野 議

意見や申請にきめ細かな 対応を

Q 行政懇談会の意見や要望を
まとめているか。

それぞれの要望に具体的な対
応を求める。どう受け止めている
か。

A 実施結果、意見及びアンケ
ー
トを集計し、報告書を作成してい

る。広報9月号に一部を掲載。
それぞれの意見や要望に対し関
係課が検討するよう指示をしてい
る。今すぐ改善できることは改善
し、取り組みたい。毎年行いたい。

Q 町民から寄せられる要望や
意見に行政として対応するルー
ルはどのようなものか。

A 町の行政組織規則に従い担
当課が対応する。地域の公共的な



勝山諫山地区行政懇談会風景

要望については、駐在員を經由し
て要望書を提出していただしてい
る。

個人的な要望については、一個
人に対して便宜を図るようになら
ないよう、慎重に対応している。

Q 意見箱はどう活用されてい
るか。

A 公共施設7箇所にある意見
書箱は、定期的に総務課で取りま
とめ、担当課に回し対応している。

Q 町民からの意見や要望、申
請、苦情などの受付簿を整備し、
文章で確実に関係者に経過報告
することが必要だ。

A 個人や駐在員からの申請は、
いずれも総務課で受け付けをして
いる。その後、担当課に振り分け、

個人分については、随時、経過説明
を行い、駐在員には文書で回答し
ている。

これ以上の地方切捨てを 許してはならない

Q いま、国政レベルで議論して
いる地域主権改革はさらなる地
方切捨て、地域間格差の拡大にな
るのでは。わが町に与える影響は。

A 現在のところ、国から地方分
権への具体的な施策については示
されていないが、地域間格差が生
じないようにする必要がある。

地方分権による地方の切り捨て
はあつてはならない。

今後も協議内容に関心を持つ
て、国に対し意見を述べていく。

町営住宅の建て替えの 進捗状況は

Q つぎの建て替え団地は決まっ
たのか。どのような手順で進める
のか。

A いま三島団地を建て替えてい

る。

22年度中に犀川の今里団地の
建て替え計画書を作成する。

23年度には開発申請、地質調
査、文化財試掘調査等を行い、24
年度以降、現地建て替え工事を実
施していく。



今里団地

Q 事業規模の大きさなどから
財政的、政策的に町政運営上で大
きな展望が必要だ。

今後の地域主権改革の影響も
懸念される。町長の考えは。

A 交付金や起債を活用して、町
財政に負担にならないように進め
ていく。

人口減に歯どめをかけ、町の活
性化を図る上でも、建て替えは急
務である。

一般質問

文化振興策を問う



原田さやか
議員

児童・生徒にみやこ町の歴史、風土を伝承する施策を考える必要がある

Q 「京都」は中心を意味する言葉である。「京都郡みやこ町」は珍しい名称。就職試験の面接で、なぜ京都郡みやこ町かという質問があったと聞く。
町の由来、歴史風土を説明できる児童生徒に育ってもらいたい。教育現場で位置づける必要があるのではないか。



歴史民俗博物館(外観)

A 文化の振興は、私の町政における主要施策の一つである。

「文化を生かした町づくり検討会議」を7月に立ち上げ、みやこ町の文化資産を活用した具体的な方向性や方策などについて、有識者による意見交換を始めた。

児童生徒に対する歴史学習の支援には、歴史民俗博物館の職員が中心となって、積極的に対応をしている。

これからも、地域の皆様、郷土史会や顕彰会の皆様の協力を得ながら、積極的に児童生徒に対する歴史や伝統文化の学習支援に取り組みたい。

文化振興課を設けてはいかがか

Q 町には歴史民俗博物館がある。有効活用しなければならぬ。

博物館と図書館が連携することによって、企画展、郷土史のコーナーなどの充実を図るなど

の可能性が考えられる。

A 歴史民俗博物館と図書館が密接に連携できるように文化振興課を設置することを提案する。

A 博物館と図書館が連携する施策案として次の事が考えられる。

- 一、実施を予定しているみやこ町文学賞を図書館、博物館が連携して実施。
- 二、小宮豊隆文庫など、歴史、伝統、文化、先人に係る書籍の収集、管理、公開を博物館、図書館が連携して行う。
- 三、図書館に寄せられるレファレンスのうち、歴史関係のものを博物館の職員が支援する。
- 四、ボランティア組織の育成と交流の促進を図る。
- 五、博物館の企画展にあわせて、図書館において関係図書、資料の特設コーナーを設けること。

文化振興課の新設には、事務事業の見直しを含め、事務改善委員会で検討中。結果を持ち、結論を出したい。

町長の意思伝達はどのようになされているのか



歴史民俗博物館の展示の様子

Q 議会での答弁が事務処理されるまでの経過を問う。

答弁が「言いつばなし」を改善したい。職員の意識改革とも連携する。

A 答弁は分類ごとに所管課長が記録し、その発言趣旨に沿った事務処理を行っている。

事務の内容により、関係課の調整を要するもの、予算、条例改正等を伴うもの等は、調整会議により事務が滞ることのないよう処理をしている。

道路行政（安全対策を急げ）



馬 勝 中 議員

Q 豊津錦町496号線は狭く、歩道もガードレールもない。子供の通学時、非常に危険な状態である。安全対策を急げ。

A 安全対策の面から路側帯の整備、歩道設置等で整備事務所と協議しているが、用地等の交渉が難航している。

Q 育徳館から陸上競技場まで自転車通学路（1.5km）になっているが、道路幅が狭く、交通量も非常に多く危険である。

A 地元より拡幅工事等の要望道路の拡幅を強く求める。

Q 晩婚化、未婚率の増加で少子化に拍車がかかり大きな社会問題となっている。

A 10月24日、出会いサポート事業を計画している。

少子化対策（晩婚、未婚者の結婚活動を）

が出ているので、地元と協議、調整等を行い、拡幅工事計画を立てている。

蛇刈キャンプ場を利用して、バーベキューをしながら、散策をしながら参加者に出会いの場を提供する。

納税寄付制度（ふるさと納税）

Q みやこ町のふるさと納税制度はあまり活発にないように思う。

A ふるさと納税を活性化するための専門組織の設置が必要ではないか。

出会いサポート事業のチラシ

A 寄付を多く頂ければ、確かに町の活性化に繋がる。専門組織の設置について検討したい。

今回の結果を参考に、婚活支援体制も考慮していきたい。

Q 職員の町外在住者は何名か。

A 町外在住者は87名。

残念ながら、ふるさと納税に協力している職員はいない。今後、理解と協力を求めたい。

公務員の勤務態度（勤務時間中の喫煙休憩）

Q 公務員の勤務態度が厳しく見つめられている時代に、定期的に職場を離れて喫煙することに問題はないのか。

A 勤務時間中の喫煙は、その頻度や時間が社会通念上の許容範囲、適正な業務執行に支障が生じない場合は、職務専念義務違反に当たらないと考える。

頻繁に喫煙するようなことがあれば、職務上のロスであること、は否めず、職務専念義務に違反すると言わざるを得ない。早速見直しを行う。



本庁3F喫煙室

一般質問

町の担い手、若者育成、定住



浦山 公明
山 議 員

Q 新規就農者の育成は聞くが、町内在住の商工就業の若者育成の考えは。

A 県や商工会と連携し、経営力の強化、相談、支援、育成を行い、担い手育成に努めたい。

Q 町の活性化のキーワードでもある「若者の担い手」の定住策は、住環境にあるが、町長の構想を伺う。

A みやこ町には、若い人が結婚しても住宅がない。高速道路、光ファイバー等も整備されていない状

況。

これから10年後を見据えた町づくりを考えている。

Q 町を担っていく若者と意見交換する事も育成のためには必要ではないか。

A 若手の皆さんと是非、意見交換をしたいと思っている。

教育行政も福祉と同じく幅広く、奥深い

Q 教育委員会の役割と権限を



全校児童数5人の上高屋小学校

伺う。

A 教育行政の基本方針、重要事項の審議、決定、執行等。

Q 中学校から必修科目となる武道の対応、対策を伺う。

A 新学習指導要綱により、平成24年から武道が必修科目になる。1、2年生は体育時間に柔道、剣道、相撲の選択、3年生は球技または武道の中からの選択となる。

Q 必修科目に対し施設、道具、道着の対策は。

A 場所は、体育館等。道具、道着は町が準備し貸与する。

Q 学校統廃合、複式学級の対応策の考えは。

A 複式学級は進んでおり、統廃合は上高屋小、伊良原小中学校が検討されている。

Q 通学路、車道の白線が薄れているので対策を。

A 早急に点検、調査する。児童生徒の交通安全対策に取り組む。

小学校の廃品回収の復活を

Q 古紙等の廃品回収により、子供達はリサイクル資源やもの大切さを学び、また、PTAは組織強化に繋がっていく。

A 親子一緒に廃品回収を行うことにより、もの大切さ、協同性が身につく事は大事なことであり、再度検討したい。

公園整備について

Q 合併前、ゆいの郷にあてた町営グラウンドの代替地のための開発基金の積立をした。合併後は、調査委託費が付き今

日に至る。実施計画が、絵に描いた餅にならないよう。

代替は箱物、グラウンド等ではなく、住民がふれあう憩の広場を要望したい。

A ふれあい公園については、県議時代に相談を受け、できるものと思っていた。

補助事業、予算等がどうなるか、真摯に受け止め、検討したい。



勝山保健福祉センター「ゆいの郷」

若者の定住で

活力のある町づくりを



中尾 俊文 議員

Q みやこ町、とりわけ犀川地域では少子・高齢化がすすみ人口の減少が顕著。

A このままでは、町長の「日本一元気なみやこ町」の実現でなく、町の基盤が危惧される。そこで、若者定住の施策が重要。現在、岩熊に新婚向け住宅があるのみで、結婚を機に多くは町外へ移住する現状。若者向け住宅の建設を急ぐべき。

A 若者向け住宅は、若者定住に有効な手段であり、町独自で建設し料金を低く設定して、若者の流出を防ぎたいと考える。しかし、国・県の補助がないこ



岩熊団地(勝山諫山)

とから、財源を含め検討をすすめる。

Q 熟年者のUターンや共働きの若者向け小規模な住宅造成も必要と考える。

A 小規模宅地造成は人口の減少を食い止め、町活性化のため定住促進に旧町毎に10区画程度を考えている。

Q 老朽化した町営住宅のストック計画を見直し、早急な建て替えで若者が住んでみようと思いの出る町づくりが必要。

A 町営住宅建て替えるの今後の計画は、犀川・豊津地区を進めていく。

県営今里住宅の建て替えが福岡県からあり、一体感のある町づくりをめざし今里団地から進めていく。

本年度は、今里、大村、谷口、松坂の入居者意識調査、建設計画を作成、来年度に開

発申請、地質調査等を行い、平成24年度以降に建て替えを実施していく。

Q 町の情報化社会に対応できる光ファイバー通信が必要である。行橋や苅田は既に通信が設置されている。

A 企業誘致や若者の定住で極めて必要だと考える。

A 光ファイバーはインターネットの普及で不可欠なもの。最優先の課題として考えている。

通信事業者に施設整備を働きかけ、国の方向性や動向、国・県の支援体制を見据え、早期に整備を図って行きたい。

小・中学校の存続は保護者の声で

Q 教育委員会答申は、「地域の意見を尊重するが、近い将来統廃合は避けられない」としている。ダム完成予定年度の29年には児童・生徒数は0になる。地域住民の意見や結論は大切だが、統廃合で、町全体の教育環

境の充実を検討すべき。また、「子ども達や保護者の声」で結論を出すべき。

A 町は検討委員会の意見を尊重し、小中学校を統合して、農村留学やコミュニティー等、学校に新たな機能を持たせた小中一貫校を木造で計画して他地域から見学にこられるようにと考えている。

(教育長)検討委員会は、地域代表、校長の12名で構成し6回会議が行われ、地域の住民にアンケート調査を実施した結果、7割が再建、3割が統廃合だった。



全校児童数7人の伊良原小学校

一般質問

行政懇談会を終えて



熊谷みえ子
議員

住民意識の把握、今後の検討内容・方針とは

Q 合併の目的は、行財政を集中することで効率的な行政運営と財政投資を可能にするためとされてきた。同時に、地域コミュニティへのきめ細やかな施策ができなくなる。住民参加、住民自治がおろそかになるなど、くらしの問題点を指摘されている。

A サービスは高く、負担は低く、周辺部も寂れないように計画。

Q 合併特例債の活用で有利とされてきた。現状はどうか。

A 合併後10年を経過すると、地方交付税の削減があり、現在の算定では、最終的に年8億円程度の減収になる。

Q 安定した行財政運営のために、行政組織、行財政規模の見直しなど、改革の推進、スリム化された小さな自治体を目指す

すことが求められている。小さな自治体と自立に向け、その前提となる生活基盤、環境整備を行いつつ、意識の改革に取り組み必要があると考えている。



諫山保育所(勝山)

保育が必要ときにいつでも預けられるように

Q 保育所の統廃合・民営化方針がはっきりしている資料が出された。保育所民営化の検討委員会

A の設置要綱も提示をされた。拙速な動きでなく、白紙から再度検討して頂きたい。

Q 旧町ごと最低1カ所は公立を存続させるとしていた。節丸保育所などは、保護者の方々、地域の存続してほしいとの思いは承知のことと思う。

A 公的保育の果たす役割は重要である。少子化対策、安心して出産して子育てできる環境づくりに必要。

Q 病後時保育など幅広い発想で、公的な保育所としての取り組みが必要。

A 保育所問題も、町民一人一人が考えて、集約したことの中から、取り組んでいきたい。

Q 福祉センターは配食サービス事業の拠点づくり、介護保険サービスの対象外のつどの場などに活用できないか。

A 子育て広場、お年寄りとの交流の場とか、幅広い使い方、発想の転換で具体化を望む。

A 思った以上に施設はあるという意見があった。負担もかかってくるので検討課題にしたい。

Q 統廃合が全面的に打ち出されているが、今ある施設をどう活用していくのか。取り組みは。

A 行政運営をどのように舵取りするのか、真摯に受けとめ、価値観が多様化した現代、さまざまな機会を通じて町民と対話をして、情報収集を図って、元気なまちづくりを進めていきたい。



豊津福祉センター「すどりの里」

環境と子どもに優しい芝生の広場を



光吉さわ子
議員

勝山地区グラウンド用地の基金を活用して本庁舎周辺に検討を

Q 報道によると荻田町の小学校では、児童が転んでも危なくないように芝生を植えている。
土の温度が4度下がりにコにも役立つ、環境にもやさしいと教育の中に取り入れられている。
庁舎周辺に緊急避難の多目的広場が必要。
旧勝山町で公園計画の経過措置、実績資料もあると思



中庭に芝生が植えられている荻田町南原小学校

A 検討してほしい。
災害時の避難場所としての性格をもった広場を確保す

ることは、他のインフラ面が整備されていることから考えると適地と思う。

今後、公共施設のあり方を検討したいと考えている。

用地費、代替計画は平成13年当初からの資料はある。



自分たちで植えたので安上がり

公営住宅譲渡の現状は

Q 直近の払い下げの件数と売買価格と団地名。

16年、光富団地16戸を譲渡し
入居者の要望により平成

ている。坪単価22,100円。約一戸当たり75坪で土地建物で価格は191万円。

現在、徳政、皆見、巣鳥各団地のうちの一部14戸の譲渡手続きを進めている。

Q 住宅譲渡審議会が条例で決まっているが、会議は開かれたか。

A 間もなく設置したいと思っている。

小規模住宅団地は積極的に譲渡を進める。

Q 空き家をどう活用しているか。

A 修繕費の今年度の執行状況は。

1,200万円の内、雨漏り、床及び建具の修繕費330万円で75件で執行率は30%。

炊事場、床、建具等の要望については、随時対応している。

Q 住宅問題は総合的に見直してもらいたい。

合併以来、入居受け付けも

一切受け付けなかったが、今回、長川団地4件の空き家申し込みを公募し改善された。空き家を崩すのに60万円もかかるなら、修繕して困った人を入れてほしい。

A 心配なのは、耐用年数が過ぎているので地震等が来た時にどうなのか、町の管理責任が問われる。無理などところもある。



長川団地(勝山諫山)

Q 犀川の宅地造成計画に6,500万円の予算が使われた。

町も大きく転換期にきている。大胆な発想と実行を求める。



夏祭りでの力のこもった公演

がんばっちょーよ!!

かつやま太鼓

日本独自の和太鼓のリズムは、我々日本人の心のリズムであるとともに、世界に通

用する伝統芸能として、近年、国の内外で注目されています。

そのような中、地域文化の振興と青少年の健全育成を目指して、平成元年に旧勝山町で「かつやま太鼓」が結成されました。

演奏曲は従来の形にとらわれず、新しいリズムの中に若者の熱き思いと郷愁を表現しています。中でもサンバのリズムに、勝山地区で育った孟宗竹もしょうちくを叩いたひとときわかん高い音色が特徴です。

夏まつりや産業祭、さらには福祉施設への慰問等に年間約20回程度公演させてもらっています。今後力強い活動をしていきたいと思えます。

現在、会員25名。興味のある方は、太鼓の練習に参加したい方は、毎週木曜日と日曜日の午後8時から午後9時30分まで「サン・グレートみやこ」ホールにて練習をしていますので、一緒に汗を流しませんか。

連絡先	
代表責任者	永原 義章
練習会場	サン・グレートみやこ
練習日	毎週木曜日・日曜日
	(祭日は除く)
午後8時～9時30分	



一緒に汗を流しませんか

掲載募集

このコーナーでは、掲載を希望されるグループを募集しています。希望される方は議会事務局(32-2511 内線301)までご連絡ください。

発行責任者	委員長	武勝馬
	副委員長	大田中
委員	熊谷	中野村
	大田中	田中
発行責任者	肥喜里	和隆
	熊谷	みえ子

議会広報 特別委員会

発行日：平成22年11月1日
 発行：みやこ町議会
 〒824-0892 福岡県京都郡みやこ町勝山上田960番地
 TEL0930-32-2511 (内線 301・302)
 FAX0930-32-4563
 編集：議会広報特別委員会
 印刷：(株)日報

議会傍聴においで下さい。
 ※住所氏名の記入だけで傍聴することができます。
 12月の定例会は、日程が決まり次第、ホームページ・防災無線等でお知らせします。

編集後記

朝晩、寒さを感じる様になった今日この頃です。
 今年の夏は、異常気象のせいもあつたのか例年になく暑い毎日が続きました。
 このような、環境の異常な変化に耐えられる強い心と体力を身に付けていかなければと強く感じました。
 さて、議会だよりの編集ですが、常に掲載しています議会報告以外にも、多くの記事を載せたいと思うのですが紙面に限りがあります。
 少しでも多くの記事を伝え、「親しみやすく読みやすい」議会だよりを編集する為に努力を重ねて行きたいと思っています。
 (武田)